【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和5年10月4日(2023.10.4)

【国際公開番号】WO2023/085090
【出願番号】特願2023-526054(P2023-526054)
【国際特許分類】
H01M 50/105(2021.01)
H01M 50/121(2021.01)
H01M 50/122(2021.01)
H01M 50/133(2021.01)
H01M 50/129(2021.01)
H01M 50/119(2021.01)
H01G 11/78(2013.01)
【FI】
H01M 50/105
H01M 50/121
H01M 50/122
H01M 50/133
H01M 50/129
H01M 50/119
H01G 11/78

【手続補正書】
【提出日】令和5年5月19日(2023.5.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
金属箔層と、その金属箔層の外面側に設けられた樹脂製の基材層と、前記金属箔層の内面側に設けられた接着層と、その接着層の内面側に設けられた熱融着樹脂製の熱融着層とを含む蓄電デバイス用外装材であって、
前記熱融着層が、前記接着層に接着される金属箔側層部と、最内面に配置されるシール層部とを含み、
平均粒径が０．０５μｍ以上で５μｍ未満の粒子を「微粒子」とし、平均粒径が５μｍ以上で２０μｍ以下の粒子を「粗粒子」として、
前記シール層部は、微粒子および粗粒子を含む層によって構成され、
前記金属箔側層部は、微粒子を含み、かつ実際の粒径が５μｍ以上の粒子を含まない層によって構成されていることを特徴とする蓄電デバイス用外装材。
【請求項２】
前記シール層部は、厚さが５μｍ以上である請求項１に記載の蓄電デバイス用外装材。
【請求項３】
前記シール層部は、粗粒子の含有量が２００ｐｐｍ～５０００ｐｐｍであり、微粒子の含有量が５００ｐｐｍ～３５００ｐｐｍである請求項１または２に記載の蓄電デバイス用外装材。
【請求項４】
前記金属箔側層部は、微粒子の含有量が５００ｐｐｍ～３５００ｐｐｍである請求項１

または２に記載の蓄電デバイス用外装材。
【請求項５】
前記シール層部に滑剤が含有されている請求項１または２に記載の蓄電デバイス用外装材。
【請求項６】
前記粗粒子は、樹脂ビーズによって構成されるとともに、前記微粒子は、Ｓｉ酸化物、Ａｌ酸化物、Ｔｉ酸化物のいずれか１種以上の酸化物によって構成されている請求項１または２に記載の蓄電デバイス用外装材。
【請求項７】
蓄電デバイス本体部と、
請求項１または２に記載の外装材と、を備え、
前記蓄電デバイス本体部が、前記外装材で外装されていることを特徴とする蓄電デバイス。